

ドールハウス

作・錦織伊代

【登場人物】

リカ (一八)
ユリ (三二)
由希乃 (二六)
メグミ (一八)
サクラ (二三)
麗華 (二五)
三井重男 (三四) 店長
桐谷慎吾 (二八) マネージャー
小峰大輔 (二四) ボーイ
佐藤 (四六) 週金曜日に来る常連客
田中 (五五) サクラの指名客
鈴木 (二六) サクラの指名客

【舞台装置】

都内にある都内にあるキャバクラ『DOLLS』の店内。
(都心から少し離れた地域をイメージ)
舞台中央にキャストが待機するソファがある。
その周りは透明なガラスで囲まれている。
ガラスの奥と、待機場所の両横にソファとテーブルがあり、接客はそこで行われる。
上手に二つの扉。それぞれ更衣室とトイレに繋がっている。
下手には、店の入り口の扉。ベルがついていて、開くたびに音が鳴る仕組みになっている。
入り口の側にはカウンターがあり、レジや電話などが設置されている。
カウンターの奥は、厨房兼、男子従業員の休憩スペースになっている。

第一場

暗転中、激しい雨と風の音が聞こえている。
由希乃とメグミの電話で話す声が聞こえてくる。
次第に明転。

由希乃 (電話で) えー、来れないの？ マジで言ってる？

メグミ (電話で) そうなのお？ すっごいショックですう。

由希乃 ありえないんだけど。来るって言ってたじゃん。

メグミ ひどいよお。なんで雨なんか降らせるのお？

冬の夜の夜。キャバクラ『DOLLS』の店内。

壁には『本日コスプレイベント！』等の張り紙や、派手な
装飾がしてある。

すでに開店している時間だが、客の姿はない。

セーラー服を着た由希乃と、メイド服を着たメグミが化粧
を片手に電話している。

マネージャーの桐谷は、店の準備をしながら、二人の電話
を聞いている。

由希乃 渡辺ちゃんが来るって言ったら、由希乃はわざわざ出勤し
たの！

メグミ 神様が、メグタンとコウちゃんにヤキモチ焼いたんだね。

由希乃 ここまで来るの、超大変だったんだよ！？

メグミ 嫌だ。淋しい。死んじゃうかも。

由希乃 ねー、来て来て来て来て来て来て来て！ こんなにお願いし
てるのにー！

メグミ ウサギはね、淋しいと死んじゃうんだって。

由希乃 約束守れない人、大嫌いって言ってるじゃん。

メグミ コウちゃんの愛はあ、天気に負けちゃうの？

由希乃 もういいよ、バカ！ じゃーね、待ってるから！

由希乃、電話を切る。

由希乃 ……やりすぎ？

桐谷 いいよ、あの人ドMだから。来ないって？

由希乃 最低だよ。誰かいけないかなあ…… (携帯をいじり始める)

メグミ うん、じゃあ明日ね。お休み…… (電話を切って) キモー
イ！

由希乃 ボクちゃん？

メグミ 自分の事ボクちゃんとか言わないで欲しい。来ないし使えな
いし。

由希乃 今日はもうダメだよ……。

桐谷 そんな事言わないで、じゃんじゃん営業して！

店の電話が鳴る。小峰、厨房から出てきて電話に出る。

小峰 お電話ありがとうございます『DOLLS』です。あ、カオ
りさん？ ……困りますよ、女の子少ないんですよ。

メグミ (メールしながら) 私も生理なんだけど。

由希乃 (メールしながら) 雨の日の生理って辛いよね。

小峰

桐谷 はい、じゃあお大事に…… (電話を切る)

何やっただよ！

小峰 え？

桐谷 あいつ、月に何回生理あると思ってるんだ？

小峰 そうなんすか！？

桐谷 ったく、カオリも休みかよ……。マズいなあ……。

小峰 ドタキャンの嵐ですね。

桐谷 相当機嫌悪いぞ。

小峰 三井さんですか？

桐谷 他に誰がいるんだよ！ ただでさえ、ミカがいなくなって機

嫌悪いのに……。

小峰 ミカさん、やっぱり飛んだんですか？

桐谷 そりゃそうだよ。連絡とれねーもん。

小峰 ロッカー空っぽでしたからね。

桐谷 お前、外行つて来い。

小峰 え、嵐つすよ？

桐谷 甘えた事言ってるじゃねーよ。戻って来る前に客入れとかな

いと……。

小峰 ……怖いっすね。

桐谷 客でも女でも、何でもいいから引つ張つて来い！

小峰 はい！

小峰、厨房の奥に消える。

桐谷 麗華さんは？ 更衣室？

メグミ まっだ化粧中？

由希乃 特殊メイクでもしてんじゃない？

メグミ セレブは顔作るのが大変なんだね(笑)

二人、笑う。

小峰、厨房からコートを着て出てくる。

桐谷 インカム！

小峰 あ！（厨房に戻る）

メグミ コミちゃん、本当ドジだよな。

由希乃 でもそこがかわいい。

メグミ そう？

小峰、インカムを取って戻ってくる。

桐谷 いいの釣つてこいよ。

メグミ 行つてらっしゃーい。

小峰 行つてきます。

小峰が店を出て行こうとすると、ドアが開き、店長の三井

が入ってくる。

小峰 三井さん！ おかえりなさい！

三井 どこ行くんだよ？

小峰 あ、キャッチに……。

三井 後でいいから、お茶入れろ。

小峰 お茶、ですか？

三井 ああ、温かいのな。（外に）さあ、どうぞ。

リカ はい……。

三井が合図をすると、アルバイト情報誌を手にしたリカが

入ってくる。

リカ 失礼します……。

リカ、不安そうな表情で店内を見回している。皆、リカに注目する。リカ、皆の視線に気づき、

リカ あの、私やつぱり……。

三井 え？

リカ 失礼します！

リカ、慌てて店を出て行こうとする。

三井 いやいやいやいや、ちよつと待ってよ。全然見てないじゃない。

今、お客さんいないし、大丈夫だからさ、ね？

リカ ……はい。

リカ、三井に背中を押され、店内に入る。

桐谷 体験っすか？

リカ 違います。

桐谷 え？

見学だよ。じゃあ、そこに座って待っててくれるかな？

リカ ……はい。

三井、リカを入り口付近の席に座らせ、厨房の奥に入っていく。

桐谷 びしょ濡れじゃん。これ使つて。(乾いたお絞りを渡す)

リカ ありがとうございます。

桐谷 ごめんね、今暇でさ。あんま参考になんないかもしれないけど。

リカ いえ……。

小峰、厨房からお茶を持ってきて、リカに渡す。

小峰 どうぞ。

リカ ありがとうございます。……温かい。

小峰 面接ですか？

リカ え、あの、見学です……。

小峰 (アルバイト情報誌を指差して) それは？

リカ あ……！ これは、アルバイトを、探していて……。

小峰 だったらここオススメすよ。働きやすいし、いい人ばっかだし。

リカ はあ……。

三井、コートを脱いで厨房から戻ってくる。

小峰、慌てて仕事に戻る。

メグミ ミッチー、おはよう！

三井 おはよう。かわいいじゃない！

メグミ イベント用に買ったの。似合う？

三井 似合うよ、萌え萌えだね。

由希乃 ミッチー、由希乃は？

三井 かわいいよ、ルーズソックスがまた堪らないね。

由希乃 やだ、親父みたい！

三井 いやあ、コスプレだと華やかでいいねえ。

メグミ なんでコスプレなの？

三井 男は皆好きだからさ。『かわいいドル達がい思い思いの衣装に身を包み、お待ちしております』

由希乃 何それ？

三井 今日のキャッチコピー。せっかくかわいいんだから、いっば

い見てもらわなきゃな。

二人 はあーい！

三井 よーし、今日も雨にも負けず頑張ろうな。

メグミ (電話をかけて) ……もしもし、メグタンだよ。何してたの？ え、お家？ 行けないよ、お仕事中だもん。タツクンがメグタンに会いに来てよお……？

メグミ、通話しながら店の外に出て行く。

由希乃 由希乃も。(電話をかけ始める)

三井 おう、頑張れよ！

由希乃 (電話で) もっしー、おっつー、今日来ないの？

由希乃、通話しながら外に出て行く。

三井、リカの所に来て、隣に座る。

三井 ごめんね、待たせちゃって。

リカ いえ。

三井 どう？

リカ え？

三井 来て見た感想は。

リカ なんか、もつとキラキラした世界を想像してました。

三井 うちアットホームを売りにしたお店だからね。

更衣室のドアが開き、チャイナ服姿の麗華が出てくる。

麗華、リカ達の前を通り過ぎ、カウンターに向かう。

三井 おはよう。いやあ、キレイだねえ。

麗華 おはようございます。

三井 色っぽいなあ、よく似合ってるよ。

麗華 どうもありがとう。

三井 今日はどれくらい来てくれるのかな？

麗華 連絡してはいるんですけど、この天気じゃどうかしら。

三井 そうだよ。でも呼んでくれたら嬉しいなあ。

麗華 もう一度、連絡してみます。

三井 ありがとう、麗華ちゃんがナンバーワンの日も近いかなあ。

麗華、ポーチから携帯を取り出し、外に出て行く。

リカ すごい……、モデルさんみたい。

三井 彼女、先週入ったばかりなんだよ。

リカ そうなんですか！？ やっぱり東京にはキレイな人が多いんですね。

三井 東京に多いんじゃないよ。環境が人を変えるんだよ。

リカ え？

三井 ここにいと、皆キレイになる。着飾って、男の前に出るだ

リカ けで、女の子は花を咲かせるからね。
 リカ そうなんですか……？
 三井 一ヶ月後には皆、別人になるから。表情が輝いてくるし、服装も持ち物も変わってくる。
 リカ へえ……。
 三井 いい仕事だよな。俺、女だったら絶対やってるもん。お酒作って、笑ってるだけでお金になるんだからさ。
 リカ あの、こういうお仕事ってどれくらい稼げるものなんですか？
 三井 お金、困ってるの？
 リカ ……はい。
 三井 どれくらい？
 リカ え？
 三井 どれくらい必要なの？
 リカ えっと……、二十万くらい……。
 三井 欲しい物でもあるの？
 リカ あの……、家……。
 三井 家？
 リカ 友達の家に住候して……、上京してきたばかりで……。
 三井 そうなんだ。それはお金いるよなあ。
 リカ はい……。
 三井 やってみればいいじゃない。すぐに貯まるよ。
 三井 本当ですか？
 三井 時給三千円でいいよ。
 リカ 三千円！？
 三井 ああ、困ってそうだからさ。力になるよ。
 リカ でも、私にできるかどうか……。

三井 大丈夫、大丈夫。実はね、さっきの子達も最近始めたばかりなんだよ。
 リカ そうなんですか？
 三井 すぐにできたよ、簡単な仕事だし、一から面倒見るからね。
 リカ あ、あの……触られたり……、脱いだりなんて事は……？
 三井 ないない！ TVの見すぎだよ。不安になる事は何もない！
 リカ そうなんですわね……。あの、お願いします。私をここで働かせてください！
 三井 いいの？
 リカ はい！ 初心者ですけど、一生懸命頑張ります。だから、お願いします！
 三井 わかった。じゃあ、今日からよろしくね。
 リカ ありがとうございます！
 三井 とりあえず着替えようか。シンゴ、案内してあげて。
 桐谷 はい。ロッカーどうします？
 三井 ああ……一個空いてただろ？
 桐谷 了解です。じゃあ、こっちな。
 桐谷 桐谷、更衣室のドアを開けて、リカに説明する。
 桐谷 ロッカーはあそこ使って。貴重品はレジで預かるから。
 リカ あの、名前が……？
 桐谷 剥がしちゃっていいよ。
 リカ ……はい。
 桐谷 衣装は、奥に掛かっているヤツ、好きなもの着ていいから。チアでもバドでもご自由に。
 リカ はあ……。

桐谷、リカを更衣室に入れると、ドアを閉める。

桐谷 どこで拾ったんすか？

三井 駅前、フラフラしてたんだよ。求人誌抱いてな（笑）

桐谷 ミカさん系ですよ。

三井 そうか？

桐谷 田舎っぽさが抜けたら、そんな感じですよ。

三井 じゃあ、ミカの客を繋げるかもな。

桐谷 急にバックレましたからね……。

三井 これからクリスマス、忘年会シーズンだったのによ。由希乃

とメグミ、飛ばないように管理しとけよ。

桐谷 はい。

店の入り口のドアが開き、ユリが出勤してくる。

ユリ おはようございます。

桐谷 おはよう。

ユリ （店内を見て）何これ、気合い入ってるね。

三井 ユリ、遅刻だよ。

ユリ はいはい、罰金払えばいいんですよ？

三井 そういう問題じゃないだろ。

ユリ あー、ブーツびしょびしょ、失敗したなあ。髪も巻いてきた

のに崩れちゃったよ。

三井 客の予定は？

ユリ あるわけではないですよ。

三井 あのなー、ちよっとは呼ぶ努力をなささいよ、お前は。

ユリ 努力したって来ないものは来ないんだよ。あー、寒い寒い。

ユリ、更衣室に向かい、ノックをする。

中から鍵を開ける音がし、ユリ、中に入っていく。

続く